

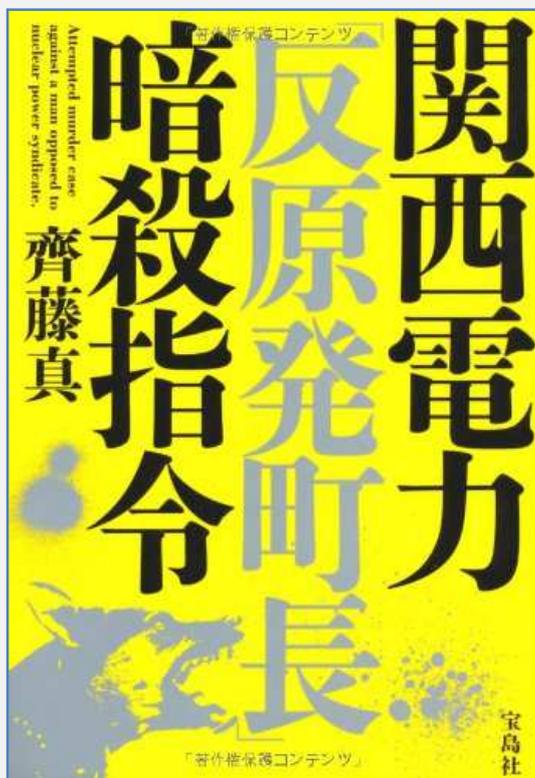
緊急重版決定!**3億円受領で再注目される 関西電力の闇****反原発町長“暗殺計画”ルポ 10/25重版出来!**

株式会社宝島社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:蓮見清一)は、書籍『関西電力「反原発町長」暗殺指令』の緊急重版を決定しました。書籍重版分は10月25日から書店にて販売される予定です。

本書は2011年に発売した、高浜町で起きた関西電力の幹部K氏(当時)による今井理一前町長の暗殺計画に迫るノンフィクションルポです。関西電力幹部の3億円金品受領問題により、関西電力が抱える闇に注目が集まっていることから、今回緊急重版することを決定しました。今回の受領問題の中心人物である森山栄治氏(書籍内では「通称エムさん」)も「陰の仕切り人」として登場しています。

著者への取材・出演も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。

**関電幹部3億円超え金品受領の舞台、福井県高浜町で起きた
反原発町長「暗殺計画」の顛末
当事者たちが実名告発する、原発・地元対策の異常すぎる暗部!**



『関西電力「反原発町長」暗殺指令』

発売日: 2011年12月17日

定価: 本体1429円+税

判型: 四六判

ページ数: 239P

原発が立ち並ぶ福井県・若狭湾沿岸の“原発銀座”。関西電力の高浜原子力発電所で異常な出来事が起こっていた。獐猛な“原発警備犬”が、完全犯罪の凶器に使われようとしたのだ。国内初の「プルサーマル」に固執する“高浜原発の天皇”。ことごとく“天皇”に反発する地元高浜町の町長……。 「喉元を犬にくいちぎらせたれや」。完全犯罪を命じられた警備会社幹部が町長を追尾する……。 関電首脳は知っていたのか？

当事者たちが電力会社の異常な地元対策を実名告発する戦慄ノンフィクション!!



著者プロフィール

齊藤 真(さいとう まこと)

ジャーナリスト。週刊誌記者を経て、フリーランスに。著書に齊藤真の筆名で『世田谷一家殺人事件 侵入者たちの告白』(草思社)がある。

< お問い合わせ先 >

株式会社 宝島社 広報課

東京都千代田区一番町25番地 Tel: 03-3239-0967